

第4回福大少年柔道合同練習会

※福大&九電柔道部の夢コラボ企画※～子供たち、未来へ羽ばたけ!!「できっこないをやらなくちゃ」～

1 活動件名 (テーマ)

第4回福大少年柔道合同練習会 ※福大&九電柔道部の夢コラボ企画※
～柔道の稽古を通じた人格形成～ 出会いや経験が人生を変える!!



2 開催日時

平成29年12月17日(日) 9:00～16:00

3 開催場所

福岡大学 柔道場



4 主催者

福岡大学柔道部、九州電力柔道部、本吉塾 (大牟田市)

5 実施目的

★ 2020年東京オリンピックに向けた次世代層育成支援!★
具体的には、以下の **3つのエッセンス** を織り込んだ活動を企画。

- (1) 子供たちの夢を育む“場”を創出し、全力で応援します!
- (2) 柔道を通じた地域コミュニティの“場”を創出します!
- (3) 地域の仲間(大学+企業+地域)と一緒に次世代層を育成します!



6 実施内容

- 午前：各道場対抗の練習試合を実施 (負けて涙、勝って笑顔、様々な成長シーンを創出)
- 午後：学年別の合同練習会を実施 (日頃やれない相手に真剣な表情。グッときます!)
- 福大&九電選手との稽古 (でっかい大学生に稽古をつけてもらい笑顔が咲く!)

7 実施結果

◆参加者数：約500名

【内訳】

- ・福岡県、熊本県の小学生、中学生、計：310名(16団体)が参加
- ・その他、社会人、福大学生、指導者、保護者、計：約190名が参加

◆九電みらい賞

【優秀選手：18名、うち★マークは“最優秀選手：5名”】※赤字は女子



団体名	受賞者				
・本吉塾	鹿	釜	奈々美	選手 (小4)	
・柳川昭代武道会	吉	開	琴	選手 (小5)	
・荒木柔道クラブ	伊	藤	綾	選手 (小5)	★ 最優秀選手賞 (MVP)
・安武道場	古	賀	壮吾	選手 (小5)	
・久留米柔道塾	田	崎	美羽	選手 (中2)	
・久留米柔道塾	山	本	桃子	選手 (小5)	
・うきは市体協柔道部	足	達	陽宝	選手 (幼年)	★ 最優秀選手賞 (MVP)
・松龍館柔道場	江	藤	実桜	選手 (小6)	★ 最優秀選手賞 (MVP)
・東福岡柔道教室	佐	藤	一花	選手 (小1)	
・西福岡柔道クラブ	村	上	裕康	選手 (中1)	
・西福岡柔道クラブ	小	西	苺花	選手 (小6)	
・春日柔道育成会	伊	藤	秀穀	選手 (小3)	★ 最優秀選手賞 (MVP)
・糸田町社々少年団	岩	下	縁士	選手 (小3)	
・波多江社々少年団	北	脇	遥	選手 (小3)	★ 最優秀選手賞 (MVP)
・桜野柔道	熊	本	良太郎	選手 (小3)	
・南風社々少年団	林	千	春	選手 (小6)	
・志摩社々少年団	山	崎	悠翔	選手 (小6)	
・福武館	佐々木	翔	太	選手 (小5)	



● 新築（平成29年）された、福岡大学柔道場に500名を超える参加者が集結!!!!

肌寒い朝9時、福岡大学柔道場（福岡市城南区）に、500名を超える参加者が集い、新しくなった柔道場で「第4回福大少年柔道合同練習会」を開催しました。
遠くは熊本県から地元は福岡県より、16団体の参加申し込みがありました。
本練習会は、福岡大学柔道部師範であり、地元大牟田市の名門「本吉塾」の塾長でもある、**本吉先生**の発案から始まり、九電柔道部とコラボ企画として、今年で4回目を迎える。（ちなみに、当社東京支社勤務の“**七戸龍選手**”は福岡大学出身）



● 2020年東京オリンピックの次に向け、子供たちの未来を強烈にアシスト!!!!!!

2020年東京でオリンピックが開催される。今回参加した子供たちは、東京の次のオリンピックを目指すこととなるが、6年後の準備は、もうスタートしている。
世界の技術レベルが年々上がっていく中で、柔道発祥国として日本が目指す道とは・・・
井上康生全日本監督もTV等の取材において、度々発言されていますが、
“最強にして最高の選手”を育成する!!とのこと。
「美しい一本」を目指すことと、道場の外では社会の役に立つ人間、まわりから尊敬され、また、社会から「必要とされる人間」を目指し、柔道の「技・体」だけでなく「心」の部分も同時に育成しなければならないと説いている。
今回の合同練習会を通じて、多くの子供たちがたくさんの友達を作り、繋がり、互いに「切磋琢磨」しながら、強固な「心技体」を磨き上げてほしい。



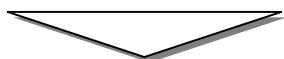
● 九州電力みらい賞を受賞した子供たちの喜ぶ笑顔が光る!!!!!!!!!!

この賞は、本合同練習会において、以下の点で優れた選手を表彰する。



【審査項目】

- ・大きな声が出る選手 （挨拶、練習中の声出しなど）
- ・一生懸命に練習する選手 （強い弱いではなく、練習に取り組む姿勢）
- ・目立つ練習をしている選手（やっぱり大きな声、そして豪快な技）
- ・リーダーシップのある選手（みんなを引っ張る、声を掛け合う）
- ・積極的に技をかける選手（攻撃は最大の防御、前に前に攻める柔道）



★ 審査員：九州電力柔道部 堺総監督が参加者の中から18名を選出

★ 表彰：閉会式時に九州電力柔道部 福田副委員長より発表

★ 賞品：優秀選手賞：七戸選手の写真入り色紙（18名）
最優秀選手賞：スポーツTシャツ（上記18名のうち5名）



● 子供たちへの願い「～妥協なき“今”の積み重ねが、みらい・栄光への架け橋となる～」

午前中は各チーム対抗練習試合から始まり、午後からは学年毎に分かれて、基立ち練習を行いました。自分よりも強い選手と稽古し、何回投げられても立ち上がり、必死で喰らい付いていく子供の姿がありました。

共通する想いは“**今よりも強くなりたい**”という気持ちなんです。相手との勝負なんですけど、その前に“**自分との勝負**”があるわけです。日頃の練習や日常生活において、既に勝負が始まっていて、日頃の行動が“**楽な方に流れる人**”は、勝負において、勝つ事はできません。

何よりも、今日一日、一瞬の“**今**”を妥協なく積み重ねることが一番重要です。

妥協なき“今”を継続して積み上げた人が、一番高い山に立てるのだと思います。

できなかった過去を悔やむのではなく、これから先を「できこないをやらなくちゃ」という“サンボマスター”の楽曲・精神に乗せて、頑張っしてほしいと思います。



● 最後に感謝の言葉を申し上げます！

最後に、参加された500名の方々からは、たくさんの「**ありがとう**」の言葉をいただきました。きっと、子供たちの記憶の中に、今日の「**思い出**」が刻まれたことと思います。子供のころの非日常的な体験は、大人になってからも、ずっと忘れず、心のどこかにしまってあり、いろんな大切な場面での判断材料となっています。

そんな、非日常的な空間を、福岡大学柔道部の皆さまと、九州電力柔道部及び本吉塾の方々と一緒になり、作り上げることができたことは、最高の喜びであり、また、忘れることのできない貴重な経験となりました。“**本当にありがとうございました。**”

次回「第5回福大少年柔道合同練習会」は、平成30年12月に開催予定となりますので、引き続き、今回、参加いただいた各団体の皆さま方におかれましては、次回も是非ご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。



事務局：九州電力柔道部 江上忠孝

以下、合同練習会の様子・写真



第4回福大少年柔道合同練習会!





















第4回福大少年柔道合同練習会!!



